

## 日本環境変異原学会 学会賞、研究奨励賞、功労賞 受賞者リスト

### <学会賞>

平成 6 年度	杉村 隆	国立がんセンター	ヘテロサイクリックアミンの変異・がん原性に関する研究
平成 7 年度	松島 泰次郎	日本バイオアッセイ研究センター	変異原検出系とがん原性評価についての研究
平成 8 年度	早津 彦哉	岡山大学	環境中の変異原の検出とその抑制因子に関する研究
平成 9 年度	石館 基	オリンパス光学工業	染色体異常を指標としたがん原性物質検出法の開発と評価
平成 10 年度	黒田 行昭	国立遺伝学研究所	哺乳類培養細胞を用いた遺伝子突然変異の検出と抑制に関する研究
平成 11 年度	長尾 美奈子	東京農業大学	食品中変異原・癌原物質の発見と発がん機構の分子生物学的研究
平成 12 年度	祖父尼 俊雄	ノバスジーン	変異原研究領域におけるレギュラトリーサイエンスの確立
平成 13 年度	大西 克成	徳島大学	変異・癌原性物質の産生・代謝とその活性抑制に関する研究
平成 14 年度	木苗 直秀	静岡県立大学	生活環境中の変異原物質の分離同定とそれらの腫瘍発生との関連性に関する研究
平成 15 年度	菊川 清見	東京薬科大学	食品中の変異・発がん物質の生成と DNA 損傷性およびその低減に関する有機化学的研究
平成 16 年度	林 真	国立医薬品食品衛生研究所	げっ歯類を用いる小核試験の基礎研究ならびにその行政面への応用
平成 17 年度	鎌滝 哲也	北海道大学大学院薬学研究科	環境変異原物質の代謝活性化に関わる酵素の分子生物学および分子疫学的研究
平成 18 年度	能美 健彦	国立医薬品食品衛生研究所	環境変異原物質の新規検出系の作出および Y ファミリー DNA ポリメラーゼの分子遺伝学的解析
平成 19 年度	葛西 宏	産業医科大学	DNA 酸化損傷としての 8-ヒドロキシデオキシグアノシンの発見とその生物学的意義
平成 20 年度	若林 敬二	国立がんセンター研究所	環境中に存在するがんの原因物質に関する有機化学的、分子生物学的研究
平成 21 年度	川西 正祐	鈴鹿医療科学大学薬学部	環境変異・発がん因子による活性酸素と活性窒素の生成を介した DNA 損傷機構
平成 22 年度	降旗 千恵	国立医薬品食品衛生研究所	環境変異原・がん原物質の臓器特異的短期評価法に関する研究

<奨励賞（昭和54年度～平成5年度）・研究奨励賞(平成6年度～)>

昭和54年度	長尾 美奈子	国立がんセンター研究所	食品の変異原因子に関する研究
昭和55年度	石館 基	国立衛生試験所	環境変異原および癌原物質の染色体異常によるスクリーニング
	常盤 寛	福岡県衛生公害センター	大気中の変異原性汚染物質の実態の調査と研究
昭和56年度	賀田 恒夫	国立遺伝学研究所	環境変異原検出に関する Rec-assay の開発とその応用
昭和57年度	松島 泰次郎	東京大学医科学研究所	変異原性検出による化学物質の発癌性評価についての研究
	早津 彦哉	岡山大学	環境中の変異原物質の作用機作に関する化学的研究
昭和58年度	葛西 宏	国立がんセンター研究所	加熱食品中の強力な変異原イミダゾキノリンおよびイミダゾキノサリンの発見
昭和59年度	大西 克成	徳島大学	環境中のニトロピレン類の検出および代謝に関する研究
昭和60年度	若林 敬二	国立がんセンター研究所	食品中の新しい変異原前駆物質の研究
昭和61年度	林 真	国立衛生試験所	<i>In vivo</i> 小核試験法の基礎と応用に関する研究
	森本 兼曩	大阪大学	ヒト末梢リンパ球における姉妹染色分体交換(SCE)誘発に関する研究
昭和62年度	梁 治子	大阪大学	ショウジョウバエによる環境変異原検出系に関する研究
	藤川 和男	武田薬品工業中央研究所	ショウジョウバエによる環境変異原検出系に関する研究
昭和63年度	土川 清	国立遺伝学研究所	マウス・スポットテスト系の確立
	降旗 千恵	東京大学医科学研究所	環境変異原・癌原物質の <i>in vivo</i> 短期評価法の開発と応用
	山添 康	慶応義塾大学	環境変異原の酵素的活性化機構の研究
平成元年度	有元 佐賀恵	岡山大学	ポルフィリン類による多環性化合物の変異原活性阻害の研究
	祖父尼 俊雄	国立衛生試験所	哺乳動物試験に影響を及ぼす要因の解析とその協力研究の推進
平成2年度	巽 紘一	京都大学	ヒト細胞を用いた環境変異原の検出と作用機構
	渡部 烈	東京薬科大学	メチル基置換芳香族炭化水素の代謝的活性化
平成3年度	菊川 清見	東京薬科大学	食品・医薬品由来の変異原物質の分離・同定とその生成機構

平成4年度	能美 健彦	国立衛生試験所	ニトロアレーン、芳香族アミンに高感受性を示すサルモネラ菌株の開発
平成5年度	鎌滝 哲也	北海道大学	変異原物質の代謝的活性化に関するチトクローム P-450 の基礎的・応用的研究
	木内 武美	徳島大学	変異原物質の腸内菌による代謝に関する研究
	糠谷 東雄	静岡県立大学	食品中の変異原物質の分離同定
平成6年度	太田 敏博	東京薬科大学	香料成分の抗変異原性作用機構
	高橋 和彦	名古屋市立大学	アルキル化剤による変異誘発に対する修飾作用の分子機構
平成7年度	荒木 明宏	日本バイオアッセイ研究センター	気相曝露による微生物変異原性試験法の開発とその利用
	下位 香代子	静岡県立大学	突然変異修飾因子の検索とその作用機構に関する研究
平成8年度	根岸 友恵	岡山大学	ショウジョウバエを用いた変異原性修飾因子の研究
	森田 健	日本グラクソ筑波研究所	染色体異常試験における培養環境の研究
平成9年度	世良 暢之	福岡県保健環境研究所	ニトロアレーンの構造・変異活性相関およびヒト暴露の実態
平成10年度	佐々木 有	八戸工業高等専門学校	コメットアッセイを用いたマウス多臓器 DNA 損傷の検出
	山田 雅巳	国立医薬品食品衛生研究所	遺伝子工学的手法を用いたアルキル化剤高感受性サルモネラ試験菌株の作製とその応用
平成11年度	宇野 芳文	三菱東京製薬医薬総合研究所	複製 DNA 合成(RDS)試験法を応用した非変異・肝癌原性物質の検出系確立
	渡辺 徹志	京都薬科大学	大気・土壌中の変異原物質の定量的評価に関する研究
平成12年度	布柴 達男	東北大学	大腸菌の活性酸素防御応答と突然変異誘発機構に関する研究
	本間 正充	国立医薬品食品衛生研究所	がん抑制遺伝子 p53 の組換え修復を介した遺伝的安定化機構
平成13年度	平本 一幸	東京薬科大学	フリーラジカルを経由する環境変異・発がん物質の生成と発現に関する研究
	若田 明裕	山之内製薬安全性研究所	げっ歯類の培養細胞と個体を用いる小核試験法の検討
平成14年度	鈴木 孝昌	国立医薬品食品衛生研究所	トランスジェニックマウス変異原性試験の有用性に関する研究
	赤沼 三恵	残留農薬研究所	大腸菌における突然変異スペクトルの簡易解析法の開発に関する研究

平成 15 年度	羽倉 昌志	エーザイ安全性研究所	化学物質による <i>in vitro</i> および <i>in vivo</i> における突然変異の定量的解析に関する研究
	戸塚 ゆ加里	国立がんセンター研究所	Norharman の co-mutagenic 作用機構に関する研究
平成 16 年度	高村(塩谷)岳樹	国立がんセンター研究所	環境から分離した新規変異原物質の DNA 修飾に関する研究
平成 17 年度	石川 さと子	共立薬科大学 基礎薬学講座	N-ニトロソ化合物の活性化体の性質に基づいた制がん性リード化合物の創製
	福原 潔	国立医薬品食品衛生研究所	抗変異原物質をめざしたカテキン類の平面固定化反応に関する研究
平成 18 年度	及川 伸二	三重大学医学部	癌原物質および抗酸化物質によるDNA酸化損傷機構の解析
	紙谷 浩之	北海道大学大学院薬学研究科	DNA 前駆体の酸化損傷による変異の分子機構とその防御システムの解明
平成 19 年度	倉岡 功	九州がんセンター	ヒト細胞における DNA 損傷のヌクレオチド除去修復機構に関する研究
	中村 孝志	京都府立大学人間環境学部	京野菜に含まれる抗変異原の同定とその作用機構
平成 20 年度	増村 健一	国立医薬品食品衛生研究所	<i>gpt delta</i> トランスジェニックマウス試験系を用いた点突然変異と欠失変異を選択的検出
平成 21 年度	松田 知成	京都大学大学院工学研究科 附属流域圏総合環境質研究センター	LC/MS/MS を用いた DNA 付加体の網羅的解析に関する研究
	三浦 大志郎	帝人ファーマ株式会社 医薬開発研究所安全性研究部	内在性 Pig-A 遺伝子をレポーターとする <i>in vivo</i> 遺伝子突然変異評価系の開発
平成 22 年度	竹入 章	中外製薬株式会社安全性研究部	<i>gpt delta</i> マウスおよびその由来細胞を用いた DNA クロスリンク剤の変異誘発機構

<功労賞>

平成 14 年度	菊池 康基	国際医薬品臨床開発研究所	<i>In vivo</i> 遺伝毒性試験の基礎的研究とガイドラインへの適応
平成 15 年度	(該当者無し)		
平成 16 年度	田中 憲徳	食品薬品安全センター	生殖細胞および培養細胞を用いた遺伝毒性試験法の開発と国際標準化への貢献
	西岡 一	京都バイオサイエンス研究所	変異原および抗変異原の作用機構に関する研究とその振興
平成 17 年度	(該当者無し)		
平成 18 年度	島田 弘康	第一製薬(株) 安全性管理部	医薬品の安全性評価における各種遺伝毒性試験の適用と国際調和への貢献
平成 19 年度	(該当者無し)		
平成 20 年度	望月 正隆	東京理科大学薬学部	有機化学的アプローチによる環境変異原の作用機構解析と制がん研究への応用
平成 21 年度	浅野 哲秀	大阪女学院短期大学	<i>In vivo</i> 遺伝毒性試験の発展と学术交流への貢献
平成 22 年度	(該当者無し)		